

	学校だより 芽吹 き	FOR 2050	教育目標 1 自ら学び、考え、実践できる人になろう (賢く) 2 思いやりのある、心豊かな人になろう (優しく) 3 心身ともに、たくましい人になろう (逞しく)
	NO. 175	令和5年7月20日発行 中野区立南中野中学校	



夏休みだからこそできることを

校長 竹之内 勝

7月20日(木)の全校集会における校長講話から

皆さん、こんにちは。前期前半が終わります。令和5年度が始まってからの約3ヶ月半、皆さん、本当によく頑張りました。今朝も、「大掃除で廊下に出ていた机や椅子を、校内ボランティアの生徒が朝早くから登校し、全て教室に入れてくれた。」という報告をもらいました。本当にうれしい一日の始まりでした。「皆さんの頑張りが今日を迎えた」と思っています。心からお礼を言います。ありがとうございました。南中生一人ひとりの「自分も仲間も大切にできる」というよさを、たくさん感じた前期前半でした。思いやりの気持ちをそのままに、これからもみんなで支え合っていきましょう。

さて、待ちに待った夏休みです。みなさんは、どのような夏休みを過ごしますか？教育目標にある、知「賢く」・徳「優しく」・体「逞しく」の3つに分けて、どのように過ごすのかを考え、家族や友達、先生方と意見を交流し、考えを更に深めてそれらを実行しましょう。具体例を示します。

○ 知「賢く」

- ① 教科書を全部読んでしまう(3年生は1年生の教科書から全部読む)。
- ② 前期の中間考査問題を改めてやる(3年生は1年生のときの前期中間考査から全部やる)。
- ③ 興味をもったことを探究する。
- ④ 本を読む。

○ 徳「優しく」

- ① 家族から役割をもらい、実行する。
- ② 地域等のボランティア活動に参加する。
- ③ 自然(緑)に接する。
- ④ 何も考えない時間をつくる。

○ 体「逞しく」

- ① 朝食を家族と食べる。
- ② 毎日運動する(できる限り歩く。からだを動かして遊ぶ。)
- ③ 安全第一で過ごす。

などです。夏休みは、学校の活動が先に進みません。“だからこそできること”に積極的に取り組み、学力・気力・体力を蓄えてください。

合わせて、今日は、みなさんの大切な体と心を守るための話をします。自分の体や心は、自分自身だけのものです。大切な体と心を守るためには、人との距離感が役立ちます。距離感には、体の距離感と心の距離感があります。心地よい距離は、人によって違います。近寄られるのを嫌がる人もいます。相手が近づいてきて、嫌だなと感じたら、自分の距離が守られていないということです。皆さんは、嫌だと思うことを「嫌だ」と伝えることができます。相手が嫌がっているのに、性的な言葉を言ったり、体を触ったり、見せつけたりするなど、性的な言葉や行動で、人を傷つけることを、性暴力と言います。体に触る行為だけが性暴力ではありません。

SNS等で性的な言葉を送って、人を傷つける行為も性暴力に含まれます。性暴力は、どんな理由があっても、誰であっても、決して許されるものではありません。性暴力の被害にあった人たちは、体調が悪くなったり、嫌な気持ちになったりするだけでなく、自分が悪いのではないかと思ってしまうこともあるそうです。でも、決して被害に遭った人は悪くありません。悪いのは、性暴力を行う人であり、それは誰であっても許されることではないのです。もし、自分が性暴力の被害に遭いそうになったら、または、被害に遭ってしまったら、

- ① 相手が誰であっても、「嫌だ」と声を出してください。
- ② すぐに、その場から逃げたり、その相手と距離をとったりしてください。
- ③ 決して一人で抱え込んだり悩んだりしないで、保護者、親類、学校の先生、塾や習い事の先生など、皆さんの周りにいる信頼できる大人、3人以上に、まずは話してみてください。

あってはいけないことなのですが、もしその相手が、学校の先生の場合であったとしても、性暴力は、決して許されることではありません。学校の先生は、

- ① unnecessary身体接触をしない
- ② 密室で二人きりにならない
- ③ 個人的なやりとりは行わない
- ④ 先生と生徒の交際関係は成り立たない

ことが、約束されています。昨年、学校の中で絶対に性暴力が行われないようにする法律ができました。法律の名前は、「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止に関する法律」です。この法律は、もしその相手が学校にいる先生だった場

合や学校に話しにくい場合に、皆さんが学校以外にも、性暴力について話せる場所を作ってくれています。

本日このあとの学活で、みなさんにこの用紙を配ります。

学校の先生や大人にも秘密にしたい場合は、この用紙と一緒に配られる手紙に書かれている電話番号、メールアドレスに連絡すると、性暴力の話にのって来て、皆さんのことを助けてくれます。この用紙に話したいことを書いて、糊付けをすれば、切手無しでも郵送することができます。自分が、性暴力を受けていなくても、友だちが性暴力を受けるのを見たときも、迷わず話してみてください。校長先生も先生たちも、生徒の皆さんの体と心を大切に守りたいと思っています。そのためにも、ぜひ一人で悩まないで、まずは話してみてください。他にも、不安や悩み、困ったことなどがある場合も、信頼できる3人以上の大人に「SOS」を出してください。相談できる大人が見つからないときは、先日、皆さんのiPadにダウンロードした「中野区SNS相談窓口『STANDBY』」をはじめ、電話やメールによる相談先を、Google Classroomの「生活ガイダンス」に添付しますので、ぜひ、利用してください。「SOS」を出すことが、様々な悩みを解決する第一歩です。

9月1日(金)、東京一さわやかなあいさつで、笑顔の皆さんに会えることを楽しみにしています。「FOR2050(2050年に向けて)～東京一さわやかなあいさつのできる学校～」のもと、これからも笑顔で毎日を送っていきましょう。